

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	349,903千円	316,871千円	347,634千円	0千円
	総人件費	33,520千円	33,196千円	31,278千円	
	総事業コスト	383,423千円	350,067千円	378,912千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務第一係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名	01	蓮沼地区県営畑地帯総合整備事業 (担い手育成型)	指標名	農業振興地域内基盤整備進捗率				指標種別	成果指標	指標の概要	農業振興地域内の畑のうち、基盤整備が行われた畑の割合					
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度				
戦略プラン	-	-	-	-	88%	88%	88%	-	-	-	-					
総合戦略	-	-	-	-	88%	88%	88%	-	-	-	-					
個別計画	-	-	-	-	H28年度				H29年度							
根拠法令等	土地改良法	E 補助金・負担金事業	改善目標	年度内に維持管理委員会を設立し、事業区域内の維持管理を徹底させる。				改善目標	-							
			事業計画	・用地補償業務：創設道路代金精算 ・維持管理委員会の設立				事業計画	28年度 事業終了							
事業の目的	・農作業の効率化や省力化を図り、安定した農業経営が行えるようにするため。		活動実績	・用地補償業務の完了 ・7月、地権者に登記識別情報を配布し、その後速やかに維持管理委員会を設立した。				上半期活動実績	-							
事業の概要	・農地の区画整理、農道及び排水路整備等を行う。 ・換地の手法により工事後の土地の権利関係を再編整理する。		成果	今年度で県営畑地帯総合整備事業蓮沼地区の事業完了となった。 面積：47.3ha 地権者：126名				上半期成果	-							
ISO 14001	H28 環境関連性	-	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠					
	H29 環境関連性	-	有効性	【終了】高：成果が向上(高水準を維持)している				有効性	-							
			評価	効率性	【終了】高：費用対効果が向上(高水準を維持)している				効率性	-						
			総合評価	：事業の終了				総合評価	-							
											内訳	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
											内訳	事業費(A)	1,850千円	0千円	0千円	0千円
												国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
												県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
												地方債	1,600千円	0千円	0千円	0千円
												その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
												一般財源	250千円	0千円	0千円	0千円
											人件費(B)	5,334千円	3,743千円	0千円		
											内訳	正職員	従事割合	0.70人	0.50人	0.00人
												時間外勤務	50.00時間	30.00時間	0.00時間	
											臨時職員等	無	無	無		
											事業コスト(A+B)	7,184千円	3,743千円	0千円		
											H30年度当初積算根拠	-				
											H30年度当初積算根拠	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	349,903千円	316,871千円	347,634千円	0千円
	総人件費	33,520千円	33,196千円	31,278千円	
	総事業コスト	383,423千円	350,067千円	378,912千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務第一係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名	02	下手地区県営農業競争力強化基盤整備事業	指標名	事業進捗率				指標種別	成果指標	指標の概要	事業面積ベースの進捗率					
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度				
戦略プラン	-	-	-	16%	48%	86%	100%	-	-	-						
総合戦略	-	-	-	実績	16%	48%	86%									
個別計画	-	-	-	H28年度				H29年度								
根拠法令等	土地改良法			改善目標	県に協力しながら、区画整理工等の事業推進にあたる。				改善目標	県に協力しながら、区画整理工等の事業推進し、十分な地権者の理解を得て事業を進めていく必要がある。						
事業分類	E 補助金・負担金事業			事業計画	・区画整理工 16ha ・用水路工 12.5ha(2700m)				事業計画	区画整理工 4.7ha						
執行体制	職員のみ			活動実績	・区画整理工 16ha ・用水路工 12.5ha(2700m)				上半期活動実績	-						
事業の目的	・農作業の効率化や省力化を図り、安定した農業経営が行えるようにするため			成果	年度計画のとおり、区画整理工を施工した。				上半期成果	-						
事業の概要	・農地の区画整理，農道及び排水路整備，用水機場及びパイプラインの整備等を行う。 ・換地の手法により工事後の土地の権利関係を再編整理する。			課題	十分な地権者の理解を得て事業を進めていく必要がある。				課題	-						
ISO 14001	H28 環境関連性	-	-	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-	理由	-	
	H29 環境関連性	-	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている	評価	有効性	-	評価	効率性					-
					総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施										

事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業費(A)	34,000千円	12,500千円	10,000千円	0千円
内訳				
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	30,600千円	11,200千円	9,000千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	3,400千円	1,300千円	1,000千円	0千円
人件費(B)	6,077千円	6,020千円	3,663千円	
内訳				
正職員	従事割合	0.80人	0.80人	0.50人
時間外勤務	50.00時間	60.00時間	0.00時間	
臨時職員等	無	無	無	
事業コスト(A+B)	40,077千円	18,520千円	13,663千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	349,903千円	316,871千円	347,634千円	0千円
	総人件費	33,520千円	33,196千円	31,278千円	
	総事業コスト	383,423千円	350,067千円	378,912千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務第一係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名	03	遠東地区県営畑地帯総合整備事業(担い手育成型)				指標名	農業振興区域内基盤整備進捗率				指標種別	成果指標	指標の概要	農業振興区域内の畑のうち、基盤整備が行われた畑の割合				
		戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度	H32年度		
総合戦略	-	-	-	-	-	実績	88%	88%	88%									
個別計画	-					改善目標	H28年度				H29年度							
根拠法令等	土地改良法				事業計画	事業完了後の書類引き渡し並びに維持管理委員会の設立。				改善目標				会計経理等関係書類の引き渡しは、適切な処理で実行していくように指導する。				
事業分類	E 補助金・負担金事業				活動実績	事業計画				事業計画				事業実施コスト				
執行体制	職員のみ				成果	事業計画				事業計画				H27年度決算				
事業の目的	・農作業の効率化や省力化を図り、安定した農業経営が行えるようにするため。				課題	活動実績				活動実績				H28年度決算				
事業の概要	・農地の区画整理、農道及び排水路整備等を行う。 ・換地の手法により工事後の土地の権利関係を再編整理する。				評価	活動実績				活動実績				H29年度当初				
ISO 14001	H28環境関連性					事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H29年度当初積算根拠				
	H29環境関連性					有効性	中：適切な成果が得られている				有効性	-						
						効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-						
						総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-						
														H30年度当初積算根拠				
														H30年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	349,903千円	316,871千円	347,634千円	0千円
	総人件費	33,520千円	33,196千円	31,278千円	
	総事業コスト	383,423千円	350,067千円	378,912千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務第一係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名	04 豊里南部地区県営畑地帯総合土地改良事業	指標名	農業振興区域内基盤整備進捗率				指標種別	成果指標	指標の概要	農業振興区域内の畑のうち、基盤整備が行われた畑の割合	
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度
実績	- - - -	88%	88%	88%	-	-	-	-			
総合戦略	- - - -	実績	88%	88%	88%						
個別計画	-	改善目標	H28年度				H29年度				
根拠法令等	土地改良法	事業計画	測量を含む調査のため、県と地元委員会で事務委託契約を締結し登記に向けて進める。				未同意者2名に同意を得られるように引き続き働きかけ、換地計画書作成に伴う調査委託を締結し、登記に向けて進める。				
事業分類	C 義務的事業	活動実績	課題や問題点を地元換地委員会と協議し、登記に向けて進める。				課題や問題点を地元役員と協議し、登記に向けて進める。				
執行体制	職員のみ	成果	9月 換地事務委託契約締結 2月役員会の開催 測量に伴う境界確認				上半期活動実績				
事業の目的	・農作業の効率化や省力化を図り、安定した農業経営が行えるようにするため	課題	測量に伴う境界確認・立会いにより、換地計画書作成へ前進した。				上半期成果				
事業の概要	・農地の区画整理、農道及び排水路整備等を行う。 ・換地の手法により工事後の土地の権利関係を再編整理する。	課題	27年度から3年計画で換地計画書を作成していくと同時に、未同意者2名に同意を得られるように引き続き働きかける必要がある。				課題				
ISO 14001	H28環境関連性	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-		
	H29環境関連性	有効性	中：適切な成果が得られている				有効性	-			
		効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-			
		総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-			
		事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	事業費(A)				
		事業費(A)	0千円	142千円	236千円	0千円	国庫支出金				
		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	県支出金				
		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	地方債				
		地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	その他特財				
		その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	一般財源				
		一般財源	0千円	142千円	236千円	0千円	人件費(B)				
		人件費(B)	3,795千円	3,796千円	2,198千円		正職員				
		正職員	0.50人	0.50人	0.30人		従事割合				
		従事割合	30.00時間	50.00時間	0.00時間		時間外勤務				
		時間外勤務					臨時職員等				
		臨時職員等	無	無	無		事業コスト(A+B)				
		事業コスト(A+B)	3,795千円	3,938千円	2,434千円		H30年度当初積算根拠				
		H30年度当初積算根拠	-				理由				
		理由	-				H30年度の方向性				
		H30年度の方向性	-				理由				
		理由	-				-				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	349,903千円	316,871千円	347,634千円	0千円
	総人件費	33,520千円	33,196千円	31,278千円	
	総事業コスト	383,423千円	350,067千円	378,912千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務第一係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名	05 東筑波地区農村空間整備事業	指標名	事業進捗率				指標種別	活動結果指標			指標の概要	全体事業の工事費ベースの進捗率						
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-							-	
総合戦略	- - - -	実績	76%	76%	85%													
個別計画	-	改善目標	H28年度				H29年度					その他の指標	-					
根拠法令等	土地改良法	事業計画	つくば市該当事業：北条大池付帯工，護岸工及び木柵改修工				つくば市該当事業：木柵護岸修繕 L = 20m 法面崩壊箇所修繕					事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初		
事業分類	E 補助金・負担金事業	活動実績	木柵護岸修繕(L = 115m)を施工した。				上半期活動実績					事業費(A)	0千円	2,169千円	3,500千円	0千円		
執行体制	職員のみ	成果	農村施設の保全・復元の整備により，美しい農村景観を保持した。				上半期成果					国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の目的	筑波山を中心とした対象4市を事業区域とし，その農村地域の農業施設や景観を整備・保全・復元することによって，美しい農村景観・文化に接する空間を創造するとともに都市と農村の交流の場を提供して，地域の活性化を図るため。	課題	県とともに，地元からの改修要望箇所を再度調整する必要がある。				課題					県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の概要	・つくば市該当事業：ため池護岸工(北条大池) ・他市該当事業：コア施設(展示・案内)一式，農村公園整備(ポケットパーク)一式，水辺環境整備(魚道の再生)一式 全体予定事業費 1,239,900千円 負担区分 国50% 県25% 地元(4市)25%(つくば市 = 地元25% × 20.86%)	評価	有効性	中：適切な成果が得られている			有効性	-				地方債	0千円	1,900千円	3,100千円	0千円		
ISO 14001	H28 環境関連性	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況		達成	事業の進捗状況	-		改善目標の進捗状況	-		その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
	H29 環境関連性	評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-				一般財源	0千円	269千円	400千円	0千円		
			総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-				人件費(B)	1,486千円	1,519千円	2,198千円			
													正職員	従事割合	0.20人	0.20人	0.30人	
													時間外勤務	0.00時間	20.00時間	0.00時間		
													臨時職員等	無	無	無		
													事業コスト(A+B)	1,486千円	3,688千円	5,698千円		
													H30年度当初積算根拠	-				
													H30年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	349,903千円	316,871千円	347,634千円	0千円
	総人件費	33,520千円	33,196千円	31,278千円	
	総事業コスト	383,423千円	350,067千円	378,912千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務第二係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名	06 一般単独排水路整備事業	指標名	工事延長				指標種別	成果指標	指標の概要	年度内に完成した工事の総延長距離数			
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度		
			2,770m	2,274m	1,342m	1763m	2,000m	2,000m	2,000m				
総合戦略	- - - -	実績	4,847m	1,745m	1635m								
個別計画	-	H28年度				H29年度				その他の指標	-		
根拠法令等	土地改良法	改善目標	多面的機能支払事業を活用して、適正な維持管理を推進していく。				改善目標	多面的機能支払事業を活用して、適正な維持管理を推進していく。					
事業分類	A 任意的事業	事業計画	水堀ほか8地区の測量設計 L = 3,932m 上郷ほか4地区の排水路等改修工事 L = 1,342m				事業計画	高須賀ほか9地区の測量設計 L = 3,765m 高須賀・高良田・上郷(神谷森)酒丸・下平塚の排水路等改修工事 L = 1,763m システム管理委託					
執行体制	一部委託	活動実績	水堀ほか8地区の測量設計 L = 3,462m 上郷ほか4地区の排水路等改修工事完成 L = 1,635m				上半期活動実績	-					
事業の目的	都市化に伴い、上流部の宅地及び道路等の雨水が流入し、農業用排水路としての機能に悪影響を及ぼしているため、排水路を整備することにより、排水機能の改善と維持管理の軽減を図るため。	成果	土砂の堆積及び法面崩壊等がなくなり、多面的機能支払事業を活用し維持管理の軽減と農業経営の安定化を図ることができた。				上半期成果	-					
事業の概要	地元要望等を受け、土地改良事業区域内の排水路について、三面フリュームによる整備または底板コンクリート打設による改修を行う。	課題	農業従事者の高齢化等により、排水路等の維持管理が行われていない箇所が増えつつある。排水路改修後の維持管理が課題である。				課題	-					
ISO 14001	H28環境関連性	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-		
	H29環境関連性	有効性	中：適切な成果が得られている			有効性	-						
		効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-						
		総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			H30年度の方向性	-	理由	-

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	349,903千円	316,871千円	347,634千円	0千円
	総人件費	33,520千円	33,196千円	31,278千円	
	総事業コスト	383,423千円	350,067千円	378,912千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務第二係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名	07 農業基盤整備促進事業				指標名	工事延長				指標種別	成果指標							
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標の概要		年度内に完成した工事の総延長距離数			
戦略プラン	-	-	-	-	1,663m	1,122m	1,080m	1060m	1,000m	1,000m	1,000m	その他の指標		-				
実績	-	-	-	-	2,000m	832.93m	673m											
総合戦略	-	-	-	-	H28年度				H29年度									
改善目標					改善目標	多面的機能支払事業を活用して、適正な維持管理を推進していく。				改善目標	多面的機能支払事業を活用して、適正な維持管理を推進していく。							
個別計画					事業計画	水堀ほか3地区の排水路整備工事 L = 1,080m				事業計画	上河原崎・中菅間・中根地区の排水路整備工事 L = 1,060m							
根拠法令等	農業基盤整備促進事業実施要綱				活動実績	水堀ほか2地区の排水路整備工事 L = 673m				上半期活動実績	-							
事業分類	A 任意的事業				成果	土砂の堆積及び法面崩壊等がなくなり、多面的機能支払事業を活用し維持管理の軽減と農業経営の安定化を図ることができた。				上半期成果	-							
執行体制	一部委託				課題	農業従事者の高齢化等により、排水路等の維持管理が行われていない箇所が増えつつある。排水路改修後の維持管理が課題である。				課題	-							
事業の目的	農業基盤整備地区内の排水路整備により農地の排水不良等を解消し、意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整えるため。																	
事業の概要	国庫補助事業(補助率 排水施設50.0%)の導入により農業用排水路の整備を行う。																	
ISO 14001	H28 環境関連性	-			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠		-			
	H29 環境関連性	-			有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-			H30年度の方向性		-	理由	-	
					効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-								
					総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-								

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	349,903千円	316,871千円	347,634千円	0千円
	総人件費	33,520千円	33,196千円	31,278千円	
	総事業コスト	383,423千円	350,067千円	378,912千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務第二係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名		09 県単ため池整備事業		指標名	整備箇所数				指標種別	成果指標	指標の概要	年度内に調査または工事を行ったため池数					
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度							H32年度
実績		- - - -		1箇所	3箇所	3箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所							
総合戦略		- - - -		H28年度				H29年度				その他の指標	-				
改善目標		-		工事終了後の、適正な維持管理を推進していく。				工事終了後の、適正な維持管理を推進していく。									
個別計画		-		事業計画				事業計画				事業実施コスト					
根拠法令等		土地改良法		寺具弁天池整備工事 ブロックマット護岸工 A = 679㎡ 沼田堂山池用地測量及び用地買収 若森池用地測量				沼田堂山池用地買収及び整備工事 護岸工 A = 129㎡				H27年度決算					
事業分類		A 任意的事業		活動実績				上半期活動実績				H28年度決算					
執行体制		一部委託		ため池の整備工事に向けた事前準備を整えることができた。				上半期成果				H29年度当初					
事業の目的		農業用ため池は、築造年代が古いものが多く存在しており、堤体などの老朽化対策を必要とするものが多くなっている。このような中で、浸食等により老朽化した農業用ため池の堤体等を整備することにより、安定した農業用水確保と豪雨等によるため池の被災を防止するため。		課題				課題				H30年度当初					
事業の概要		県補助事業(補助率 排水施設37.5% ため池50.0%)の導入により農業施設の整備を行う。		事業の進捗状況				事業の進捗状況				H30年度当初積算根拠					
ISO 14001		H28環境関連性		達成				達成				理由					
H29環境関連性		-		有効性				有効性				-					
		-		効率性				効率性				-					
		-		総合評価				総合評価				-					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	349,903千円	316,871千円	347,634千円	0千円
	総人件費	33,520千円	33,196千円	31,278千円	
	総事業コスト	383,423千円	350,067千円	378,912千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	計画調整係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名	10	かんがい排水整備事業償還金補助事務	指標名	償還補助件数				指標種別	活動結果指標		指標の概要	借入金の償還補助件数							
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		H32年度	目標値	23件	22件	17件	15件	13件	11件
総合戦略	-	-	-	-	実績						その他の指標								
個別計画	-	-	-	-	H28年度				H29年度				-						
事業の目的	市が実施した排水路整備事業費について、受益者が融資を受けた借入金に対し、償還補助を行うことにより受益者の負担軽減を図るため。				改善目標				改善目標				-						
事業の概要	償還(2年据置き13年償還)については、平成36年度まで継続する。債務負担行為設定済				成果				成果				-						
事業の課題	低金利での借換を検討しているが、借換効果が少ない。				課題				課題				-						
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	-	事業の進捗状況				事業の進捗状況				-						
	H29環境関連性	-	-	-	達成				達成				-						
評価	有効性	中：適切な成果が得られている				有効性				-				H30年度の方向性					
	効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性				-				理由					
	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価				-				-					

事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業費(A)	165,301千円	129,674千円	102,483千円	0千円
内訳				
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	165,301千円	129,674千円	102,483千円	0千円
人件費(B)	743千円	733千円	733千円	
内訳				
正職員	従事割合	0.10人	0.10人	0.10人
	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間
	臨時職員等	無	無	無
事業コスト(A+B)	166,044千円	130,407千円	103,216千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	349,903千円	316,871千円	347,634千円	0千円
	総人件費	33,520千円	33,196千円	31,278千円	
	総事業コスト	383,423千円	350,067千円	378,912千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務第一係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名	11 県営基幹水利施設ストックマネジメント事業 (桜川第1揚水機場)				指標名	工事進捗率				指標種別	成果指標			指標の概要	全体事業の工事費ベースの進捗率														
	戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度			-	-												
総合戦略	-	-	-	-	実績	-	-	0%																					
個別計画	-				H28年度				H29年度				その他の指標	-															
根拠法令等	土地改良法				改善目標	-				改善目標	県と連携し、揚水機場の機能診断を行い、早急に保全計画を策定する。																		
事業分類	E 補助金・負担金事業				事業計画	・揚水機場の機能診断を行い保全計画を策定 ・ポンプ施設、電気制御施設の修繕				事業計画	[桜川第1揚水機場] ・電気設備工 変圧器盤2台 低圧盤1台 ・建屋工補修 ・ポンプ付常設設備工 2台				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初										
執行体制	職員のみ				活動実績	・5月 県営事業地元負担金の分担に関する協定書締結。(5市及び1改良区) ・受益地の再調査を実施し、規模に見合った適正なポンプ施設・電気制御施設の修繕を把握した。				上半期活動実績	-				事業費(A)	0千円	1,046千円	4,879千円	0千円										
事業の目的	昭和35年に建設された桜川第1揚水機場は、標準耐用年数20年を経過し、ポンプ施設・電気制御施設の老朽化により能力が低下している。本事業を導入し、適切な補修を行い、施設のライフサイクルコストの低減と農業用水の安定供給を図る。				成果	受益地の再調査により、修繕規模を把握できた。				上半期成果	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円										
事業の概要	桜川第1揚水機場の機能診断を行い、機能保全計画を策したうえで、劣化の状況に応じた適切な対策工事を行い、施設の長寿命化を図る。				課題	ポンプ施設の劣化の状況に応じた適切な対策工事を進める必要がある。				課題	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円										
ISO 14001	H28 環境関連性	-			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況		-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況		-	地方債	0千円	900千円	4,300千円	0千円										
	H29 環境関連性	-			評価	有効性	中：適切な成果が得られている			評価	有効性	-			その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円										
															人件費(B)	0千円	1,466千円	1,466千円		一般財源	0千円	146千円	579千円	0千円					
															正職員	従事割合	0.00人	0.20人	0.20人		臨時職員等	無	無	無					
															内訳	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		事業コスト(A+B)	0千円	2,512千円	6,345千円					
															H30年度当初積算根拠					-					理由				
															H30年度の方向性					-					理由				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	349,903千円	316,871千円	347,634千円	0千円
	総人件費	33,520千円	33,196千円	31,278千円	
	総事業コスト	383,423千円	350,067千円	378,912千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	計画調整係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	11	土地改良事業に要する経費

事務事業名	12 県営角内地区畑地帯総合整備事業	指標名	農業振興地域内基盤整備進捗率				指標種別	成果指標	指標の概要	農業振興地域内の畑のうち、基盤整備が行われた畑の割合			
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度		
実績	- - - -		-	-	-	88%	88%	88%			88%		
総合戦略	- - - -	実績	-	-	88%	-				その他の指標	-		
個別計画	-	H28年度				H29年度							
根拠法令等	土地改良法	改善目標	-				改善目標	県に協力しながら、事業区域の調査計画にあたる。					
事業分類	E 補助金・負担金事業	事業計画	-				事業計画	・調査面積(27ha) ・推進協議会の設立(5月) ・現況意向調査(6月) ・換地事前調査(3月)					
執行体制	職員のみ	活動実績	・県と地元代表者で打合せを持ち、事業区域を選定し地権者の調査同意を取得した。 ・県営土地改良事業調査計画申請				上半期活動実績	-					
事業の目的	農作業の効率化や省力化を図り、安定した農業経営が行えるようにするため。	成果	県に事業の調査計画申請を提出した。				上半期成果	-					
事業の概要	・農地の区画整理、農道及び排水路整備等を行う。 ・換地の手法により工事後の土地の権利関係を再編整理する。	課題	最終的に事業の本同意は地権者全員の合意が必要である。				課題	-					
ISO 14001	H28環境関連性	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-		
	H29環境関連性	有効性	-			有効性	-						
		効率性	-			効率性	-						
		総合評価	-			総合評価	-			H30年度の方向性	-	理由	-
		事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初							
		事業費(A)	0千円	0千円	3,010千円	0千円							
		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円							
		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円							
		地方債	0千円	0千円	0千円	0千円							
		その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円							
		一般財源	0千円	0千円	3,010千円	0千円							
		人件費(B)	0千円	0千円	2,931千円								
		正職員	従事割合	0.00人	0.00人	0.40人							
		内訳	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間							
		臨時職員等	無	無	無								
		事業コスト(A+B)	0千円	0千円	5,941千円								

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	123,097千円	105,308千円	85,677千円	0千円
	総人件費	3,714千円	3,663千円	2,198千円	
	総事業コスト	126,811千円	108,971千円	87,875千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	計画調整係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	12	霞ヶ浦用水建設に要する経費

事務事業名	01 霞ヶ浦用水建設事業	指標名	通水面積				指標種別	成果指標	指標の概要	霞ヶ浦農業用水の市内通水面積						
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度							H32年度	
			1670ha	1680ha	1690ha	1700ha	1720ha	1730ha							1740ha	
総合戦略	- - - -	実績	1699ha	1699ha	1698ha	-				その他の指標	-					
個別計画	-	改善目標	H28年度				H29年度				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
			畑地かんがい営農の普及啓発を進め、通水率を向上させる。				末端用水路の整備に向け、受益地を国補事業要件に該当させるための調整を図る。					事業費(A)	123,097千円	105,308千円	85,677千円	0千円
根拠法令等	土地改良法	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 下手支線用水路工事 L=500m 霞ヶ浦用水事業の普及啓発活動 畑地かんがい営農講演会、現地研修会の実施 				<ul style="list-style-type: none"> 下手支線用水路工事 L=500m 霞ヶ浦用水事業の普及啓発活動 畑地かんがい営農講演会、現地研修会を実施 				内訳	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	E 補助金・負担金事業	活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 霞ヶ浦用水土地改良区役員選挙を実施し、つくば市選挙区で5名の役員と員外理事1名を決定 関係農家へ霞ヶ浦用水広報誌を配布(2000部) 畑地かんがい営農講演会、現地研修会を実施 				<ul style="list-style-type: none"> 同上 					県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	補助金(直接)	成果	つくば市内水田1,688ha 畑10.4haに通水し、安定した農業用水の確保が図られた。				上半期成果				地方債	1,100千円	1,000千円	2,100千円	0千円	
事業の目的	霞ヶ浦から用水を取水し、県西南部13市町を対象として農業用水を安定的に供給する体制を確立し、豊かな地域づくりを推進するとともに、農業基盤の充実を図るため。	課題	末端用水路の整備が計画どおり進んでいない。				課題				その他特財	2,493千円	1,091千円	375千円	0千円	
事業の概要	13市町の水田10,919ha・畑地及び樹園地8,375haの農地に最大17.8m ³ /secの農業用水を供給する。つくば市の受益面積は、水田2,045ha、畑1,061haである。	評価	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	一般財源	119,504千円	103,217千円	83,202千円	0千円	
ISO 14001	H28環境関連性		有効性	中：適切な成果が得られている				有効性	-	人件費(B)	3,714千円	3,663千円	2,198千円			
	H29環境関連性		効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-	正職員	0.50人	0.50人	0.30人			
			総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間			
										臨時職員等	無	無	無			
										事業コスト(A+B)	126,811千円	108,971千円	87,875千円			
										H30年度当初積算根拠	-					
										H30年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	173,533千円	168,325千円	158,736千円	0千円
	総人件費	14,156千円	13,979千円	10,624千円	
	総事業コスト	187,689千円	182,304千円	169,360千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	計画調整係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	13	土地改良振興に要する経費

事務事業名	01	国営造成施設管理体制整備促進事業	指標名	-	指標種別	-	指標の概要	-						
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度			
総合戦略	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
個別計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
根拠法令等	土地改良法, 国営造成施設管理体制整備促進事業実施要綱, つくば市国営造成施設管理体制整備促進事業補助金交付要項			改善目標	多面的機能支払事業で位置づけた土地改良施設との管理区分を明確にするよう, 関係土地改良区を指導する。			改善目標	-					
事業分類	E 補助金・負担金事業			事業計画	計画策定事業として県及び土地改良区で管理計画を策定する。推進事業としてつくば農産物フェアに出展しPR活動を実施する。また, 支援事業としてつくば市筑波土地改良区及び南筑波土地改良区へ管理体制の整備に要する経費を補助し, 体制を構築する。			事業計画	計画策定事業として県及び土地改良区で管理計画を更新する。推進事業としてつくば農産物フェアに出展しPR活動を実施する。また, 支援事業として関係土地改良区へ管理体制整備・強化に要する経費を補助する。					
執行体制	補助金(直接)			活動実績	計画策定事業として県及び土地改良区で管理計画を更新した。推進事業としてつくば農産物フェアに出展しPR活動を実施した。また, 支援事業として関係土地改良区へ管理体制の整備・強化に要する経費を補助した。			上半期活動実績	-					
事業の目的	農業水利施設の持つ多面的機能の発揮等について適切な取り組みを推進する観点から, 国・県・市が連携して土地改良区へ補助・指導を実施し, 管理体制の整備を図るため。			成果	農業用水利施設の適正管理により, 農業用水利施設の持つ多面的機能を維持することができた。			上半期成果	-					
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 計画策定事業: 土地改良区の管理体制構築に取り組み, 管理水準及び体制等について計画を策定する。 推進事業: 計画に基づき, 関係団体との協議調整及び組合員・地域住民への啓発普及と連携強化活動を実施する。 支援事業: 国営造成施設(霞ヶ浦用水)及び国営附帯施設を管理している土地改良区の管理体制の整備に要する経費を支援する。 			課題	-			課題	-					
ISO 14001	H28 環境関連性	-	-	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-			
	H29 環境関連性	-	-	評価	有効性	中: 適切な成果が得られている	評価	有効性	-					
					効率性	中: 適切な費用対効果が得られている		効率性	-					
					総合評価	B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-					
										事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
										事業費(A)	37,006千円	38,627千円	33,588千円	0千円
										国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
										県支出金	24,857千円	25,998千円	22,470千円	0千円
										地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
										その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
										一般財源	12,149千円	12,629千円	11,118千円	0千円
										人件費(B)	2,358千円	2,304千円	2,198千円	
										正職員	従事割合	0.30人	0.30人	0.30人
										内訳	時間外勤務	48.00時間	40.00時間	0.00時間
										臨時職員等	無	無	無	
										事業コスト(A+B)	39,364千円	40,931千円	35,786千円	
										H30年度当初積算根拠	-			
										H30年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	173,533千円	168,325千円	158,736千円	0千円
	総人件費	14,156千円	13,979千円	10,624千円	
	総事業コスト	187,689千円	182,304千円	169,360千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	計画調整係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	13	土地改良振興に要する経費

事務事業名	02	土地改良区工事補助事業	指標名	補助件数	指標種別	活動結果指標	指標の概要	土地改良区等に対する工事補助件数													
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度										
					14件	14件	14件	14件	14件	14件	14件										
総合戦略	-	-	-	-	実績	16件	16件	13件													
個別計画	-	-	-	-	H28年度				H29年度				その他の指標	-							
根拠法令等	土地改良法, つくば市土地改良事業補助金交付要項				改善目標	補助予定箇所について, 前年度に土地改良区と調整する。				改善目標	補助予定箇所について, 前年度に土地改良区と調整する。				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初		
事業分類	E 補助金・負担金事業				事業計画	・補助金交付件数 土地改良施設維持管理適正化事業 3件 県単土地改良事業 9件 農業基盤整備促進事業 2件				事業計画	・補助対象事業 土地改良施設維持管理適正化事業 1件 県単土地改良事業 4件 農業基盤整備促進事業 1件				事業費(A)	23,675千円	19,053千円	10,580千円	0千円		
執行体制	補助金(直接)				活動実績	・補助金交付件数 土地改良施設維持管理適正化事業 3件 県単土地改良事業 9件 農業基盤整備促進事業 1件				上半期活動実績	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の目的	土地改良区が事業主体で実施する土地改良施設の整備補修に対する補助を行うことにより, 農業生産基盤の確立と農業生産性の向上を図るため。				成果	土地改良施設の整備・改修に対する補助を実施することにより, 農家負担の軽減と安定した農業生産が可能となった。				上半期成果	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の概要	土地改良区が農業用施設の維持管理のため実施する各事業に対して予算の範囲内で補助する。 維持管理適正化事業: 事業費 × 15% 県単土地改良事業: 事業費 × 30% 農業基盤整備促進事業: 事業費 × 10%				課題	市で補修工事を実施する箇所との調整が必要				課題	-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	-	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円			
	H29環境関連性	-	-	-	評価	有効性	中: 適切な成果が得られている				評価	有効性	-				一般財源	23,675千円	19,053千円	10,580千円	0千円
						効率性	中: 適切な費用対効果が得られている					効率性	-				人件費(B)	2,350千円	2,304千円	2,198千円	
						総合評価	B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施					総合評価	-				正職員	従事割合	0.30人	0.30人	0.30人
													内訳	時間外勤務	45.00時間	40.00時間	0.00時間				
													臨時職員等	無	無	無					
													事業コスト(A+B)	26,025千円	21,357千円	12,778千円					
													H30年度当初積算根拠	-	-	-					
													H30年度の方向性	-	理由	-					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	173,533千円	168,325千円	158,736千円	0千円
	総人件費	14,156千円	13,979千円	10,624千円	
	総事業コスト	187,689千円	182,304千円	169,360千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	計画調整係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	13	土地改良振興に要する経費

事務事業名		03 多面的機能支払事業		指標名	認定面積				指標種別	活動結果指標		指標の概要	活動組織の事業計画について、市が認定した総面積		
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度				
総合戦略		- - - -		実績	1700ha	2000ha	2200ha	2250ha	2300ha	2350	2400				
個別計画		-		H28年度				H29年度				その他の指標	-		
根拠法令等		農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律、多面的機能支払交付金実施要綱、つくば市多面的機能支払交付金の交付に関する要綱		改善目標	新規活動組織については、多面的機能支払事業研修会への積極的な参加を進める。				改善目標	活動組織に対する指導・助言活動を実施する。					
事業分類		E 補助金・負担金事業		事業計画	作谷地区ほか30組織に対し、約2,241ヘクタールの農用地を対象に活動支援金を交付				事業計画	作谷地区ほか35組織に対し、約2,355ヘクタールの農用地を対象に活動支援金を交付					
執行体制		補助金(直接)		活動実績	作谷地区ほか30組織に対し、約2,220ヘクタールの農用地を対象に活動支援金を交付				上半期活動実績	-					
事業の目的		農業者や地域住民共同による農地・農業用施設等の資源の保全活動やその一環として行う農村環境保全活動について支援するため。		成果	地域資源の適切な保管理により、農業・農村の持つ多面的機能を維持することができた。				上半期成果	-					
事業の概要		活動組織は5年間の事業計画を作成し、市の認定を受けたうえで活動を実施する。市は活動組織に対し、農用地の面積に応じて交付金を交付する。 交付額：農地維持(田 = 3,000円/10a 畑 = 2,000円/10a)・資源向上(田 = 2,400円/10a 畑 = 1,440円/10a) 負担割合：国50% 県25% 市25%		課題	一部の活動組織に対して指導・助言が必要				課題	-					
ISO 14001		H28環境関連性		事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	改善目標の進捗状況	-		
ISO 14001		H29環境関連性		評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-		H30年度当初積算根拠	-		
ISO 14001		H29環境関連性		評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-		H30年度の方向性	-		
ISO 14001		H29環境関連性		評価	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-		理由	-		
ISO 14001		H29環境関連性		事業実施コスト		H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	事業費(A)		104,554千円	102,455千円	105,873千円	0千円
ISO 14001		H29環境関連性		国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	内訳		0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001		H29環境関連性		県支出金		78,941千円	76,951千円	79,509千円	0千円	内訳		78,941千円	76,951千円	79,509千円	0千円
ISO 14001		H29環境関連性		地方債		0千円	0千円	0千円	0千円	内訳		0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001		H29環境関連性		その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円	内訳		0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001		H29環境関連性		一般財源		25,613千円	25,504千円	26,364千円	0千円	内訳		25,613千円	25,504千円	26,364千円	0千円
ISO 14001		H29環境関連性		人件費(B)		6,847千円	6,806千円	3,663千円		内訳		6,847千円	6,806千円	3,663千円	
ISO 14001		H29環境関連性		正職員		0.90人	0.90人	0.50人		内訳		0.90人	0.90人	0.50人	
ISO 14001		H29環境関連性		従事割合		60.00時間	80.00時間	0.00時間		内訳		60.00時間	80.00時間	0.00時間	
ISO 14001		H29環境関連性		時間外勤務		無	無	無		内訳		無	無	無	
ISO 14001		H29環境関連性		臨時職員等		無	無	無		内訳		無	無	無	
ISO 14001		H29環境関連性		事業コスト(A+B)		111,401千円	109,261千円	109,536千円		内訳		111,401千円	109,261千円	109,536千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	173,533千円	168,325千円	158,736千円	0千円
	総人件費	14,156千円	13,979千円	10,624千円	
	総事業コスト	187,689千円	182,304千円	169,360千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務第二係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	13	土地改良振興に要する経費

事務事業名	04 土地改良施設管理支援事業	指標名	-	指標種別	-	指標の概要	-		
戦略プラン	-	目標値	H26年度 -	H27年度 -	H28年度 -	H29年度 -	H30年度 -		
総合戦略	-	実績	-	-	-	-	-		
個別計画	-	H28年度		H29年度		その他の指標			
根拠法令等	-	改善目標	多面的機能支払事業を活用して、適正な維持管理を推進していく。		改善目標		多面的機能支払事業を活用して、適正な維持管理を推進していく。		
事業分類	F 施設等維持管理事業	事業計画	・北条地区排水路清掃 L = 150m ・寺池ほか3か所の維持管理 (除草・樹木伐採等)		事業計画		・北条地区排水路清掃 L = 150m ・寺池ほか3か所の維持管理 (除草・樹木伐採等)		
執行体制	一部委託	活動実績	ため池維持管理委託：寺池ほか4か所(除草及び剪定) 排水路維持管理委託：北条地内排水路(浚渫)		上半期活動実績		-		
事業の目的	農業用としてだけでなく一般にも供用されている土地改良施設の管理の一部を市が担い、施設の機能を良好な状態に維持するため。	成果	多面的機能支払事業を活用したため池の除草等、土地改良施設の維持管理業務を実施することにより、施設を利用する上での機能向上や良好な状態を維持することができた。		上半期成果		-		
事業の概要	ため池の除草や用水路の浚渫を実施することで、これらの農業用施設の機能維持と適正な管理を図る。	課題	土地改良事業により整備した道路横断管等の構造物的が経年劣化により更新の時期に来ている。計画的な更新が必要である。		課題		-		
ISO 14001	H28環境関連性 -	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-
	H29環境関連性 -	評価	有効性	中：適切な成果が得られている	評価	有効性	-	理由	-
			効率性	中：適切な費用対効果が得られている		効率性	-		
			総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-		
		事業実施コスト		H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初		
		事業費(A)		2,928千円	2,268千円	2,528千円	0千円		
		国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円		
		県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円		
		地方債		0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円		
		一般財源		2,928千円	2,268千円	2,528千円	0千円		
		人件費(B)		1,115千円	1,099千円	1,099千円			
		正職員		0.15人	0.15人	0.15人			
		従事割合 時間外勤務		0.00時間	0.00時間	0.00時間			
		臨時職員等		無	無	無			
		事業コスト(A+B)		4,043千円	3,367千円	3,627千円			
		H30年度当初積算根拠		-					
		H30年度当初積算根拠		-					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	173,533千円	168,325千円	158,736千円	0千円
	総人件費	14,156千円	13,979千円	10,624千円	
	総事業コスト	187,689千円	182,304千円	169,360千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務第一係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	05	13	土地改良振興に要する経費

事務事業名	05 湛水防除施設維持管理事業	指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-				
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
	-		-	-	-	-	-	-	-								
総合戦略	-	実績	-	-	-	-	/		/								
	-	H28年度				H29年度				その他の指標							
	-	改善目標	排水機場の改修計画を把握し、大規模な修繕が必要な際は県と協議し対応する。				改善目標				排水機場の改修計画を把握し、大規模な修繕が必要な際は県と協議し対応する。						
個別計画	-	事業計画	鍋沼地区排水機場、山下地区排水機場 新治地区、桜川地区、川口地区の維持管理				事業計画				施設の維持管理負担金 鍋沼地区排水機場、山下地区排水機場 新治地区、桜川地区、川口地区の維持管理						
根拠法令等	-	活動実績	許可工作物履行検査の実施(山下地区、鍋沼地区) 湛水防除施設運営協議会(新治地区、桜川地区) 川口排水機場負担金				上半期活動実績										
事業分類	F 施設等維持管理事業	成果	湛水被害を未然に防止して、農業生産の維持及び農業経営の安定化が図られた。				上半期成果										
執行体制	職員のみ	課題	排水機場の維持管理に伴い、年次改修計画を把握しておく必要がある。				課題										
事業の目的	土地改良事業により造成された排水施設を適正に管理することにより、湛水被害を未然に防止して、農業生産の維持及び農業経営の安定化を図るため。	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況			-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況			-				
事業の概要	河川の水位上昇により自然排水ができなくなる時期(4月～9月)に機械排水を行うとともに施設の維持管理をおこなう。	評価	有効性	中:適切な成果が得られている				有効性	-								
			効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-								
			総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-								
ISO 14001	H28 環境関連性											H30年度当初積算根拠					
	H29 環境関連性												H30年度の方向性	-	理由	-	
事業実施コスト		H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初												
事業費(A)		5,370千円	5,922千円	6,167千円	0千円												
国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円												
県支出金		173千円	173千円	173千円	0千円												
地方債		0千円	0千円	0千円	0千円												
その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円												
一般財源		5,197千円	5,749千円	5,994千円	0千円												
人件費(B)		1,486千円	1,466千円	1,466千円													
正職員		従事割合	0.20人	0.20人	0.20人												
内訳		時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間												
		臨時職員等	無	無	無												
事業コスト(A+B)		6,856千円	7,388千円	7,633千円													

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	192,820千円	159,264千円	163,443千円	0千円
	総人件費	9,528千円	9,399千円	7,934千円	
	総事業コスト	202,348千円	168,663千円	171,377千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務第二係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	07	11	農道整備に要する経費

事務事業名	01 一般単独農道整備事業				指標名	工事延長				指標種別	活動結果指標						
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標の概要		年度内に完成した工事の総延長距離数		
戦略プラン	-	-	-	-	2,438m	2,500m	2,735m	2,500m	2,500m	2,500m	2,500m	2,500m	その他の指標		農業基盤整備完了区域内農道舗装整備率		
総合戦略	-	-	-	-	実績	2,659m	2,929m	2614m									
個別計画					H28年度				H29年度								
					改善目標	年次計画を策定し、地元要望を勘案しながら農道舗装を進める。				改善目標	年次計画に基づき地元要望を勘案しながら農道舗装を進める。						
事業実施コスト					事業計画	酒丸ほか4地区の測量設計 L = 2,921m 酒丸ほか5地区の農道舗装工事 L = 2,735m				事業計画	酒丸ほか5地区の測量設計 L = 2,573m 酒丸ほか7地区の農道舗装工事 L = 2,242m						
事業費(A)						119,539千円					104,581千円				116,389千円		0千円
国庫支出金					0千円				0千円				0千円		0千円		
県支出金					0千円				0千円				0千円		0千円		
地方債					0千円				0千円				0千円		0千円		
その他特財					0千円				0千円				0千円		0千円		
一般財源					119,539千円				104,581千円				116,389千円		0千円		
人件費(B)					6,873千円				6,780千円				5,315千円				
正職員					0.90人				0.90人				0.70人				
時間外勤務					70.00時間				70.00時間				70.00時間				
臨時職員等					無				無				無				
事業コスト(A+B)					126,412千円				111,361千円				121,704千円				
事業の目的	土地改良事業区域内の未舗装農道を整備することにより、農作物の荷崩れや砂塵による減産防止を図るとともに輸送の円滑化を促進し、農業経営の安定化と農村環境の改善を図るため。																
事業の概要	土地改良区や区会等からの農道舗装や砕石敷等の要望を受け、公共性や費用対効果の高い箇所から、年次計画により整備を行う。																
活動実績	酒丸ほか4地区の測量設計 L = 2,900m 酒丸ほか5地区の農道舗装工事を実施 L = 2,614m																
成果	農道舗装により農作物の荷崩れを防止し、輸送の円滑化が図れた。また、農村の生活道路が整備されたことにより、農村地域の生活環境が向上した。																
課題	平成26年度で遠東地区の畑総事業が終了したため、基盤整備事業区域内の未舗装農道延長が3.5km程度増加した。優先順位をつけながら計画的な施工が必要である。																
事業の進捗状況	達成				改善目標の進捗状況				達成				改善目標の進捗状況				
有効性	中：適切な成果が得られている																
効率性	中：適切な費用対効果が得られている																
総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施																
H28環境関連性	-																
H29環境関連性	-																
ISO 14001	-																
H30年度当初積算根拠	-																
H30年度の方向性	理由 -																

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	192,820千円	159,264千円	163,443千円	0千円
	総人件費	9,528千円	9,399千円	7,934千円	
	総事業コスト	202,348千円	168,663千円	171,377千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務第二係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	07	11	農道整備に要する経費

事務事業名	02	つくば下総広域農道整備事業	指標名	事業進捗率	指標種別	活動結果指標	指標の概要	工事費ベースの進捗率										
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
					97%	98%	99%	100%	100%	100%	100%							
総合戦略	-	-	-	-	実績	97%	98%	98%										
個別計画	-	-	-	-	H28年度				H29年度				その他の指標	-				
根拠法令等	土地改良法			改善目標	つくば市内の全線開通に向け、茨城県主体による交渉を継続的に進める。				改善目標	つくば市内の全線開通に向け、未買収地の交渉を県に協力し継続的に進める。								
事業分類	E 補助金・負担金事業			事業計画	道路改良工 L=220m, 道路舗装工 L=160m, 用地買収一式, 付帯工一式				事業計画	道路改良工 L=220m, 道路舗装工 L=160m, 用地買収一式, 付帯工一式				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
執行体制	職員のみ			活動実績	茨城県主体による用地買収一式				上半期活動実績	-				事業費(A)	3,370千円	2,300千円	3,751千円	0千円
事業の目的	つくば市ほか7市町の営農団地と消費地を結ぶ広域基幹農道を整備することにより、農産物の集出荷体制を確立し、市場競争力を高めるため。			成果	一部を残し供用開始しており、農産物輸送の効率化が図られた。				上半期成果	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	事業主体：茨城県・市町 起点：坂東市借宿～終点：土浦市小野、農道整備 L=17,577m つくば市区間 L=5,200m 全体予定事業費 14,386,297千円 負担区分(つくば市23.8%)			課題	つくば市内に未買収地が1か所残っており、全線開通に大きな支障をきたしている。				課題	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	内訳	地方債	3,000千円	0千円	1,875千円	0千円	
	H29環境関連性	-	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-		その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
					効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-		一般財源	370千円	2,300千円	1,876千円	0千円		
					総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-		人件費(B)	372千円	367千円	367千円			
												正職員	従事割合	0.05人	0.05人	0.05人		
												時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間			
												臨時職員等	無	無	無			
												事業コスト(A+B)	3,742千円	2,667千円	4,118千円			
												H30年度当初積算根拠	-					
												H30年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	192,820千円	159,264千円	163,443千円	0千円
	総人件費	9,528千円	9,399千円	7,934千円	
	総事業コスト	202,348千円	168,663千円	171,377千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	工務第二係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	07	11	農道整備に要する経費

事務事業名		03 農道維持補修事業		指標名	工事箇所数				指標種別	活動結果指標		指標の概要	年度内に補修工事を行った箇所数	
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度			
総合戦略		- - - -		実績	9箇所	5箇所	6箇所					その他の指標	-	
個別計画		-		H28年度				H29年度						
根拠法令等		土地改良法		改善目標	緊急性の高い箇所を優先的かつ計画的に実施していく。				改善目標	-				
事業分類		F 施設等維持管理事業		事業計画	緊急性の高い箇所から計画的に補修				事業計画	緊急性の高い箇所から計画的に補修				
執行体制		職員のみ		活動実績	維持補修工：上郷地区ほか5件				上半期活動実績	-				
事業の目的		土地改良事業区域内の農道で老朽化等により損傷した道路を維持補修することにより、農村環境保全と農村地域の安全を確保するため。		成果	損傷の見られる農道の維持補修を実施することで、通行の際の安全性の確保と事故の未然防止をすることができた。				上半期成果	-				
事業の概要		各土地改良区や区会等から農道の維持補修要望を受け、緊急性・必要性の高い箇所から優先的に補修工事を実施する。		課題	-				課題	-				
ISO 14001		H28環境関連性		事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況		-		事業の進捗状況		-	
ISO 14001		H29環境関連性		有効性		中：適切な成果が得られている		有効性		-		H30年度当初積算根拠	-	
ISO 14001		H29環境関連性		効率性		中：適切な費用対効果が得られている		効率性		-				
ISO 14001		H29環境関連性		総合評価		B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価		-				
ISO 14001		H29環境関連性		事業実施コスト		H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初			内訳		
ISO 14001		H29環境関連性		事業費(A)		5,750千円	4,320千円	4,933千円	0千円					
ISO 14001		H29環境関連性		国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円					
ISO 14001		H29環境関連性		県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円					
ISO 14001		H29環境関連性		地方債		0千円	0千円	0千円	0千円					
ISO 14001		H29環境関連性		その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円					
ISO 14001		H29環境関連性		一般財源		5,750千円	4,320千円	4,933千円	0千円					
ISO 14001		H29環境関連性		人件費(B)		1,540千円	1,519千円	1,519千円						
ISO 14001		H29環境関連性		正職員		0.20人	0.20人	0.20人						
ISO 14001		H29環境関連性		従事割合		20.00時間	20.00時間	20.00時間						
ISO 14001		H29環境関連性		時間外勤務										
ISO 14001		H29環境関連性		臨時職員等		無	無	無						
ISO 14001		H29環境関連性		事業コスト(A+B)		7,290千円	5,839千円	6,452千円						
ISO 14001		H29環境関連性		H30年度当初積算根拠		-								
ISO 14001		H29環境関連性		H30年度の方向性		理由		-						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	192,820千円	159,264千円	163,443千円	0千円
	総人件費	9,528千円	9,399千円	7,934千円	
	総事業コスト	202,348千円	168,663千円	171,377千円	

部等名	課等名	係等名
経済部	土地改良課	計画調整係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	06	01	07	11	農道整備に要する経費

事務事業名		04 農道整備事業償還金補助事務		指標名	償還補助件数				指標種別	活動結果指標		指標の概要	借入金の償還補助件数	
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度			
総合戦略		- - - -		実績	16件	14件	11件	9件	7件	5件	3件	その他の指標	-	
個別計画		-		H28年度				H29年度						
根拠法令等		つくば市非補助融資事業補助金交付要項		改善目標	今後も借換え可能な案件については借換えを進め、市の債務負担を減額する。				改善目標	今後も借換え可能な案件については借換えを進め、市の債務負担を減額する。				
事業分類		E 補助金・負担金事業		事業計画	吉沼地区ほか10件について償還補助				事業計画	吉沼地区ほか8件について償還補助				
執行体制		補助金(直接)		活動実績	吉沼地区ほか10件について償還補助を実施				上半期活動実績	-				
事業の目的		市が実施した農道整備事業費について、受益者が融資を受けた借入金に対し、償還補助を行うことにより受益者の負担軽減を図るため。		成果	受益者の負担軽減を図ることができた。				上半期成果	-				
事業の概要		償還(2年据置き13年償還)については、平成34年度まで継続する。 債務負担行為設定済		課題	低金利での借換を検討しているが、借換効果が少ない。				課題	-				
ISO 14001		H28環境関連性		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-	
ISO 14001		H29環境関連性		評価	有効性	中:適切な成果が得られている	評価	有効性	-	理由	-			
ISO 14001		H29環境関連性		評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている	評価	効率性	-	理由	-			
ISO 14001		H29環境関連性		評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-	理由	-	H30年度の方向性	-

事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業費(A)	64,161千円	48,063千円	38,370千円	0千円
内訳				
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	64,161千円	48,063千円	38,370千円	0千円
人件費(B)	743千円	733千円	733千円	
内訳				
正職員	従事割合	0.10人	0.10人	0.10人
内職	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間
臨時職員等		無	無	無
事業コスト(A+B)	64,904千円	48,796千円	39,103千円	